

今までの一方通行型社会

大量廃棄

大量消費

大量生産

このままだと、資源がなくなったり、環境破壊が進んだり...



だっ！とびさー

スリーアール

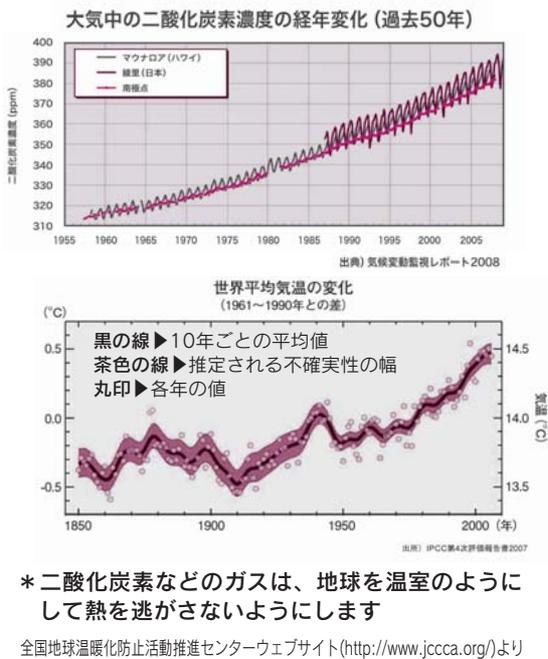
ライフスタイル見直そう！

3Rで循環型社会へ

大量生産による「一方通行型社会」によって、地球温暖化などの問題が起きています(左上グラフ参照)。私たちが住む環境を守るため、リデュース(Reduce・減量)、リユース(Reuse・再使用)、リサイクル(Recycle・再資源化)の「3R」を実践して「循環型社会」をめざしましょう。

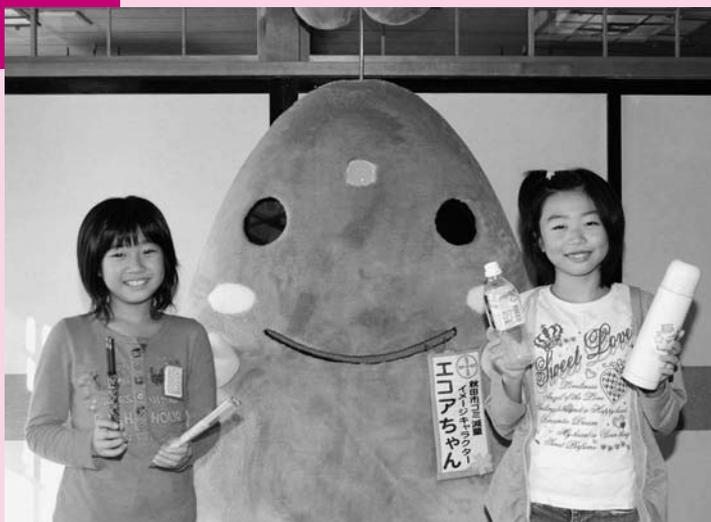
問い合わせ ごみ減量推進課 ☎(066)2043

増え続ける二酸化炭素と上昇する気温



R educe(減らす)

できるだけごみを出さないよう、物は大事に長く使おう。



「水筒や塗りばしを持ち歩けば、ペットボトルや割りばしを使い捨てずに済むね」

一方通行型社会の問題

これまで私たちは、資源を使って大量に物をつくり、消費し、いらなくなったら捨てるといって「一方通行型社会」で、便利で豊かな生活を送っていました。

ところが、たくさん物をつくったり、利用したりすることで、二酸化炭素が増えて地球が暖かくなるなどの環境問題が起きています。また、資源を消費することや、物をたくさん捨てることで、自然環境を傷つけてしまいました。

環境を守るため みんなで努力しよう

私たちが住む環境を守っていくため、使い捨て型とも言える「一方通行型社会」を、物を大切に「循環型社会」に変えていく必要があります。まずは一人ひとりができることから少しずつ努力しましょう。その一つが「3R」の実践です。みんなで頑張ると、秋田の豊かな自然を次の世代に引き継ぎましょう！

「牛乳パックは、ちゃんと洗ってリサイクルしよう」



Recycle (再資源化)

いらなくなった物でも資源になるものは、きちんと分別しましょう。

廃棄・再生
資源になりそうなものをきちんと分ける

生産

大量生産をやめて必要な量だけつくる

これが **循環型社会!**

消費

使い終わった物でも繰り返し使う

Reuse (再使用)

いらなくなった物は、捨てないで洗ったり直したりして使おう。



「中身を詰め替えれば、同じボトルを何度も使えますよ!」

ごみの分け方 出し方

- 集積所には収集日の朝6時から8時までに出してください
- 収集日以外は、ごみを出さないでください
- ごみ出しは「秋田市指定ごみ袋」で

種類	ごみの内容	出し方	注意する点	収集回数
家庭ごみ	<ul style="list-style-type: none"> ○生ごみ(水分をよく切る) ○ゴム・ビニール製品 ○プラスチック類 ○陶磁器類 ○ガラス類 ○皮革製品 など 	白色半透明の指定ごみ袋(赤印刷)か、透明の指定ごみ袋(緑印刷)に入れて	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラスくず、電球、竹串など危険なものは紙に包んでなるべく袋の中央に入れる ・家庭品の電池は必ずすどがったものや刃物などは紙に包んで「キケン」と書く ・中を軽くすずく ・指じボトル、食用油のボトルは「家庭ごみ」 	週2回
資源化物	<ul style="list-style-type: none"> 金 属 類 (金属の割合が50%以上のもの) (1片の長さが50cmを超えるものを粗大ごみ) ペットボトル (キャップは「家庭ごみ」へ) 空 き び ん (キャップは「家庭ごみ」へ) ガ ス ・ ス プ レ ー 缶 空 き 缶 使用済み乾電池 古 紙 類 ○新聞・チラシ ○雑誌・雑がみ ○ダンボール ○紙パック 	<ul style="list-style-type: none"> 透明の指定ごみ袋(緑印刷)に入れて 袋に入れて、回収箱へ 空きびんと同じ回収箱へ 透明の指定ごみ袋(緑印刷)に入れて 透明の小袋に入れて空き缶の袋へ それぞれ分けて、紙ひもでしぼる 	<ul style="list-style-type: none"> ・火の気がなく風通しが良いところを捨てる ・中を軽くすずく ・ボタン型・充電式電池は販売店へ ・粘着テープで束ねない ・写真、防水加工紙、内面にアルミ加工された紙パックなどは「家庭ごみ」へ 	月2回
粗大ごみ(戸別の有料収集)		受け付け専用電話☎(839)2002 平日の午前9時~午後4時		



川添小学校隣の「長者やま荘」で

ごみや環境のこと勉強したよ!

今回、「3R」をエコアちゃんと一緒に考えてくれたのは、9月14日の「ごみ減量・分別井戸端会議」に参加した川添小学校の子どもたち。「ごみの分け方クイズ」などで環境のことを楽しく学びました。